

都道府県金融広報委員会 事務局員の活動紹介

子どものときって大切ですね！

山梨県金融広報委員会
古屋 由美

山梨県金融広報委員会では、保護者や教員を対象とした『金融広報アドバイザーによる講義』、『外部講師を招いての金融教育講演会』や、小・中学校の社会科の先生方を対象とした『教員セミナー』な

どを行っています。

学校の先生方からは、「金銭・金融教育が大切なのは分かるけれど、具体的にどう取り組んだら良いの？」「子どもたちが金銭感覚を身につけるには、保護者の知識・認識が重要」といった声をいただきます。そこで教育委員会と粘り強く意見交換を行った結果、教員セミナーの開催に結びつきました。参加された先生方からは「授業にぜひ取り入れたい」などの声が多く聞かれました。

こうした中、昨年、お金・労働

の大切さ、豊かで優しい心、高い好奇心を育むためには、小さなときの体験が大切であることを再認識した出来事がありました。ある幼稚園で園児たちがジャガイモを育て、収穫。自らつけた値段で販売し、本物のお金を手にした後、売上の一部を東北地方の人たちのために募金しました。さらに、農業指導の専門家から「種芋に灰をつける理由」などを教えてもらった園児たちは、「なぜ？」といろいろなことに好奇心を示すそうです。この好奇心が、子どもたちの「考



える力」につながるのだと思います。今後も、ときには子どもたちを直接教え、ときには先生や保護者への知識等の提供を行って、子どもたちの大切な時期における金銭・金融教育の実践・充実に取り組みたいと思います。

地域に根差した活動を目指して

福岡県金融広報委員会
今村 勢津子

福岡県金融広報委員会では、地域に根差した草の根運動として金融学習グループの支援を積極的に行っています。現在、県内各地で主婦を中心とした9グループが、金融広報アドバイザーの指導のもと、生活設計や税金、消費者

トラブルなどに関する勉強会を開催し、熱心に学んでいます。また、ほかの学習グループや当委員会も協力しながら親子学習会や公開講座を開催し、地域の方も一緒に学んでいただける場も提供しています。そのほか、現在も勉強会やボランティア活動を続けている元の金融学習グループとの交流会などでは、勉強会のアイデアや継続のコツ、地域活動、女性の自立に向けた取り組みなど前向きな意見が活発に出され、私自身もう少

し頑張らなければと触発されることもしばしばです。当委員会はこのような方々に支えられ今日に及んでいます。今後この絆とご縁を大事に、地道ながらも着実に地域に根差した活動となるようともに支え合い、努力していきたいと考えています。



後方左側が今村さん